

ベトナム政府、ベトナム第 8 次国家電源開発計画 (PDP8) 改定案を承認

目次

PDP8 改訂版承認	1
発展の方針	2
留意すべきポイント.....	3
電力貯蔵源.....	3
原子力発電.....	3
石炭発電.....	4
天然ガス発電	4
液化天然ガス (LNG)	4
再生可能エネルギーの輸出.....	4
電力源構成.....	4
DPPA と新エネルギーの開発	4
おわりに	5

PDP8 改訂版の承認

2025 年 4 月 15 日、ブイ・タイン・ソン副首相は、決定 768/QĐ-TTg に署名し、ベトナム第 8 次国家電源開発計画 (PDP8) の改定案を承認した。

PDP8 は 2023 年 5 月 15 日に承認された。今回の改定では、以下の 4 つの原則が重視されている：

(i) 実現可能性が高いこと、(ii) エネルギー安全保障を確保すること、(iii) 地域間のバランスとエネルギー源のバランスを取ることを、(iv) 2025 年の経済成長率を 8%以上、2026～2030 年に 10%以上を目指し、国民の生活需要に対応できること。



Cơ quan phát hành: Văn phòng Chính phủ

THỦ TƯỚNG CHÍNH PHỦ CỘNG HÒA XÃ HỘI CHỦ NGHĨA VIỆT NAM
Độc lập - Tự do - Hạnh phúc

Số: 768/QĐ-TTg

Hà Nội, ngày 15 tháng 4 năm 2025

QUYẾT ĐỊNH

Phê duyệt Điều chỉnh Quy hoạch phát triển điện lực quốc gia
thời kỳ 2021 - 2030, tầm nhìn đến năm 2050

THỦ TƯỚNG CHÍNH PHỦ

Căn cứ Luật Tổ chức Chính phủ ngày 18 tháng 02 năm 2025;

Căn cứ Luật Quy hoạch ngày 24 tháng 11 năm 2017;

Căn cứ Luật Điện lực ngày 30 tháng 11 năm 2024;

Căn cứ Luật sửa đổi, bổ sung một số điều của Luật Quy hoạch, Luật Đầu tư, Luật Đầu tư theo phương thức đối tác công tư và Luật Đấu thầu ngày 29 tháng 11 năm 2024;

Căn cứ Nghị quyết số 81/2023/QH15 ngày 09 tháng 01 năm 2023 của Quốc hội về Quy hoạch tổng thể quốc gia thời kỳ 2021 - 2030, tầm nhìn đến năm 2050;

Căn cứ Nghị quyết số 174/2024/QH15 ngày 30 tháng 11 năm 2024 của Quốc hội khóa XV;

Căn cứ Nghị quyết số 139/2024/QH15 ngày 28 tháng 6 năm 2024 của Quốc hội về Quy hoạch không gian biển quốc gia thời kỳ 2021 - 2030, tầm nhìn đến năm 2050;

Căn cứ Nghị định số 37/2019/NĐ-CP ngày 07 tháng 5 năm 2019 của Chính phủ quy định chi tiết thi hành một số điều của Luật Quy hoạch;

PDP8 改正版

出所 : <https://moit.gov.vn/>

発展の方針

改正版では、再生可能エネルギー源（風力発電、太陽光発電、バイオマス発電など）からの電力源の最大化を進め、再生可能エネルギーの電力源および生産される電力の割合を増加させることが方針とされている。具体的には、陸上・沿岸・洋上の風力発電、太陽光発電、特に水上太陽光発電の開発を推進する。これらの推進は、電力網の容量、適正な送電コストに基づき、電力システム全体の安全な運用および経済性を確保しつつ、既存の送電インフラを最大限に活用することと結びつけて行う。また、既存の電力網インフラの最大活用を目指す。

2030 年までに、陸上および沿岸の風力発電の総設備容量は 26,066~38,029MW に達する計画である（ベトナムの技術的ポテンシャルは約 221,000MW）。風力発電は、良好な風況と経済的に厳しい条件がある地域に優先的に設置される。

ベトナムの洋上風力発電の技術的なポテンシャル（約 60 万 MW）を最大限に活用し、電力および新しいエネルギー源を生産する。2030~2035 年における洋上風力発電の総容量は 6,000~17,032 MW を計画しており、2050 年には 113,000~139,097 MW を目指す。新しいエネルギー源としての洋上風力発電の容量は、2035 年には約 15,000 MW、2050 年には約 240,000 MW を計画している。

ベトナムの太陽光発電のポテンシャルは約 963,000 MW であり、2030 年までに太陽光発電（集光型および屋根置き太陽光発電）の総容量は 46,459~73,416 MW に達する見込みである。2050 年には 293,088~295,646 MW に達することが計画されている。

また、バイオマス発電、廃棄物発電の開発を推進し、木材の加工品などを活用することが奨励されている。2030 年までにバイオマス発電の総容量は 1,523~2,699 MW、廃棄物発電は 1,441~2,137 MW、地熱発電およびその他の新しいエネルギー源は約 45 MW を計画している。2050 年までには、バイオマス発電は 4,829~6,960 MW、廃棄物発電は 1,784~2,137 MW、地熱発電および新しいエネルギー源は約 464 MW を計画している。

ベトナムの水力発電は、全体で約 40,000 メガワット（MW）のポテンシャルがあるとされる。この能力を経済的かつ技術的に最大限に活用しながら、環境保護や森林の保全、水源の安全も確保して進めていく計画である。具体的には、2030 年までに小型水力発電も含めた水力発電の総設備容量を 33,294~34,667MW に増やし、さらに 2050 年には 40,624MW まで拡大することを目標としている。

留意すべきポイント

電力貯蔵源

2030 年までに、揚水発電所（総容量は約 2,400~6,000 MW）を開発することが予定されており、2050 年には容量が 20,691~21,327 MW に達する計画である。これにより、負荷調整、予備容量、および大規模な再生可能エネルギーの統合が支援される。

蓄電池の開発は、再生可能エネルギーと組み合わせて、風力発電および太陽光発電の電力源近くまたは需要が集中している電力網周辺でなされる。2030 年には 10,000~16,300 MW、2050 年には 95,983~96,120 MW を計画している。

原子力発電

2030~2035 年には、ニントゥアン 1 号機と 2 号機を運転開始し、4,000~6,400 MW の規模に達

する計画。2050 年までに、8,000 MW の原子力発電所が追加される必要があり、需要に応じてさらに増加する可能性がある。

石炭発電

2030 年までに、運転中の発電所および建設中のプロジェクトの総容量は約 31,055 MW に達し、建設中の 5 つのプロジェクト（4,360MW：ナズオン II、アン カーン - バクザン、ブンアン 2、クアン チャック 1、ロン フー I）は早急に完成させる予定である。3 つのプロジェクト（5,300MW：ナムディン I、ソンハウ II、ヴァンタン 3）については、活動資金を集めることが困難であるため、商工省は規定に沿った解決策を提案するために投資家と協議・交渉を続ける。2050 年までに発電に石炭は使わず、バイオマス/アンモニアのみを使用するように完全に切り替え、総発電容量を 25,798MW にすることを目標としている。

天然ガス発電

2030 年には、国内の天然ガスを使用する発電所の総容量は 10,861～14,930 MW を計画している。2050 年には 7,900 MW が国内で使用され、7,030 MW は水素への完全転換が見込まれている。

液化天然ガス（LNG）

2030 年までに LNG 発電の総容量は 22,524 MW に達し、2050 年には、LNG と水素を併用する発電所は 8,576～11,325 MW に達する計画である。

再生可能エネルギーの輸出

2030 年までに、カンボジアへの電力輸出は約 400 MW に増加させる計画。2035 年には、シンガポール、マレーシアなどの地域へ約 5,000～10,000 MW の電力を輸出し、2050 年には 10,000 MW に達する計画である。

電力源構成

2030 年までに、国内向けの電力需要を満たす発電所の総容量は 183,291～236,363 MW となり、その中で、風力発電、太陽光発電、バイオマス発電、廃棄物発電、水力発電、原子力発電、貯蔵電池などが重要な割合を占める。2050 年には、国内需要に応じた電力供給が 774,503～838,681 MW となる計画。

DPPA と新エネルギーの開発

DPPA（直接電力購入契約）や新エネルギーの開発は、再生可能エネルギーの総発電量の 30～

60%を占める予定。

おわりに

PDP8 改訂版は、ベトナムの電力市場における再生可能エネルギーの導入を加速させ、持続可能なエネルギー供給を確保するための重要な道筋を提供している。特に風力発電や太陽光発電など、再生可能エネルギー分野への投資は今後ますます拡大し、外国投資家にとっては魅力的な投資先となる。ベトナムのエネルギー市場は、今後数十年にわたる成長が期待されるため、外国投資家は早期に市場に参入することで、長期的なリターンを得ることができる可能性が高いといえる。